

授業改善推進中期プラン 国語〔小学校第4～6学年〕

昭島市立中神小学校

学年等	項目	内容
令和5年度 第4学年	学習に関する児童の実態・課題	○段落相互の関係に着目しながら文章を読み取ったり、叙述に基づいて心情や情景を読み取り、より深く考察することができる児童が多い。 ▲漢字の定着や語彙の豊かさに課題が見られ、文章を読むのに精一杯で、内容を正しく理解することが難しい児童が若干名いる。
	教科で身に付けさせたい資質・能力	・筆者が一番伝えたいことを捉えて読んだり、叙述に基づいて心情や情景を想像したりするとともに、自分の考えや思いを相手に分かるように伝えたり、伝え方を工夫したりする力。
	具体的な授業改善の方策	・大事な部分に印を付けて読ませ、読み取る際のポイントを押さえたり、書き出しの例を示したりするとともに、児童同士で考えたり伝え合ったりする時間を多く設定する。
	第4学年における児童の達成度と第5学年に向けての課題	・漢字は、読みは第4学年に習う漢字まで身に付けた。書きは普段からすすんで使う姿勢を高める必要がある。 ・文章の読み取りに関しては、何を問われているかを理解して文章を読み取る力を高める必要がある。
令和6年度 第5学年	学習に関する児童の実態・課題	○感情の豊かさから、登場人物の心情の読み取りが上手にできる。学習のめあてから学習計画を立てるなど、集団で学び合う力がある。 ▲語彙の乏しさから漢字の読み力、書く力の定着に課題がある。長い文章から必要な情報を読み取る力が弱い。
	教科で身に付けさせたい資質・能力	・長い文章の中から必要な情報を読み取ったり、叙述に基づいて心情や情景を想像したりする力及び自分の考えを整理してまとめ、相手に合わせた言葉や表現を工夫して伝える力。
	具体的な授業改善の方策	・5W1Hや主語、述語に注目させることで、文章を丁寧に読む力を養う。その際、線や記号を用いて印を付け、筆者の主張や事実を分けて読み取らせる。 ・様々な人と交流することで、自分の考えを深めることができるように授業形態を工夫する。
	第5学年における児童の達成度と第6学年に向けての課題	○学習のめあてから学習計画を立てるなど、集団で学び合う力が一層育ってきた。 ▲自分の考えを整理してまとめ、相手に合わせた言葉や表現を工夫して伝える力を一層育てていく。
令和7年度 第6学年	学習に関する児童の実態・課題	○物語文を読むことを好む児童が多く、想像力を生かして自分なりに登場人物の心情等を読み深めていくことができる。 ▲説明文の読み取りには難しさを感じる児童が多く、論理的に読み進めていくことが難しい。
	教科で身に付けさせたい資質・能力	・既習事項を基に文章や資料等を読み取り、自分の考えを構築する力。
	具体的な授業改善の方策	・既習漢字の定着及び語彙の拡大を図るとともに、それらを生かして文章を関連付けながら読む機会等を確保することで、自己の考えを構築する力を身に付けさせる。
	小学校6年間のまとめと中学校への引継事項	・中学校3年生の「批判的に読む」ことを見据え、小学校で身に付けたことをもとに中学校入学時に「入学時テスト」を実施し（小学校で原案作成）、中学校で効果的な実践を行えるよう、連携して校内研究を進めていく。